

えるツールとして期待できる。

外国人の方や障がいのある方など全  
ての方へ対応した魅力ある優しいコン  
テナツになるという事で期待したい。

○埋蔵文化財発掘調査受託事業費増

北海道からの受託事業であり、遺物  
が出土した場合の対応も市教育委員会  
で保管するということがはつきりして  
いるので良しとしたい。

○南茅部地域通学バス運行業務委託料

小学校の統合に伴うスクールバスの  
運行という事で納得できる。  
始発から終点まで片道18キロと距離  
が非常に長いことから、子どもたちの  
安全安心のためにも通学バスの運行は  
良いと思う。  
などの理由で賛成。

経済建設分科会

議案21件を審査

主な論点・疑問点等

議案第1号 令和3年度函館市一般会  
計補正予算(経済建設分科会関係部分)

○創業支援事業負担金減

・減額理由  
・今後の取り組み

議案第2号 令和3年度函館市港湾事  
業特別会計補正予算

○外航コンテナ航路休止関係経費

・増額理由  
・今後の見通し

議案第6号 令和3年度函館市交通事  
業会計補正予算

○定期外旅客運賃減

・補正額の根拠  
・減収に伴う対策

議案第22号 公の施設の指定管理者の  
指定について(函館市元町観光駐車場  
・函館山麓観光駐車場)

・候補者として適当と認められた理  
由  
・今後の駐車場の活用法

委員間の協議

議案第1号

○創業支援事業負担金減

申込数に対して採択された件数が少  
なかったことから減額になったという  
ことで、やむを得ない。

議案第2号

○外航コンテナ航路休止関係経費

大型クレインの故障に加え、新型コ  
ロナウイルス感染症の影響を受け、外  
航航路を再開できず、利用料が少なく  
なったことにより委託料の増額が必要  
ということと理解した。

議案第6号

○定期外旅客運賃減

・定期旅客運賃増  
・健康管理システム改修経費  
・改修の内訳  
・特定不妊治療助成事業費増

民生分科会

議案10件を審査

主な論点・疑問点等

議案第1号 令和3年度函館市一般会  
計補正予算(民生分科会関係部分)

○健康管理システム改修経費

・改修の目的と内容、効果  
・特定不妊治療助成事業費増

・事業費増の理由、補正額の根拠  
・事業の効果、進め方  
・指定医療機関

議案第7号 令和3年度函館市病院事  
業会計補正予算

○修学資金貸付金増

・貸付金増の理由、貸付人数の内訳  
・効果

委員間の協議

議案第1号

○健康管理システム改修経費

本改修により、市町村間での検診結  
果データの引き継ぎや受診者本人の検  
診結果の閲覧が可能になるということ  
で、画期的なことだと思ふ。

本改修が受診率向上にもつながると  
いうことで、ぜひ進めていただきたい。  
などの理由で賛成。

なお、個人情報保護には十分留意  
していただきたい。  
との意見あり。

○特定不妊治療助成事業費増

・特定不妊治療の保険適用まで  
の暫定措置として助成内容を拡充した  
ことに伴い、本市も国に準じて拡充し  
たことで、助成申請件数の増加につな  
がったということと理解できた。  
などの理由で賛成。

なお、指定医療機関については、現  
在市内に1か所しかなく、設備面や実  
施責任者の資格要件など多くのハード  
ルはあるが、近くに増えたほうが安心  
できると思うので、検討や協議を進め  
ていただきたい。

市内に増えるのは良いことだが、設  
置には治療の成功率や経験、投資額な  
ども関わってくることから、行政が助  
成することによってそこをクリアでき  
るのか、今後検討する必要がある。  
などの意見あり。

成することによってそこをクリアでき  
るのか、今後検討する必要がある。  
などの意見あり。

議案第7号

○修学資金貸付金増

貸付金増により、医療提供体制の強  
化につながるという事で、有意義な  
増額補正だと思つてゐる。

本貸付制度については、人材確保を  
図るという観点からも、しっかりと継  
続・拡充をしていただきたい。  
などの理由で賛成。

12/9~12/13

一般質問

今定例会では、17人が一般質  
問を行い、その主なものを、  
要約して掲載しています。詳  
細は、市議会ユーチューブま  
たは2月下旬までにホームペ  
ージ等で公開予定の会議録を  
ご覧ください。



動物愛護団体への支援について

市政クラブ 工藤 恵美

質問 経済的に厳しい現状である動物  
愛護団体への財政的支援はできないか。

答弁 団体の活動は犬猫の殺処分の減  
少に大きく寄与しており、今後も団体  
の協力が重要であると認識しているこ  
とから、どのような支援ができるかな  
ども含めて検討してまいります。